



尾久西だより

荒川区立尾久西小学校
発行日 令和2年12月1日
発行者 校長 芝田智昭

No. 355 12月号

今年の振り返りと来年の展望

令和2年は、未経験の状況が多数発生し現在も対応が続いています。異例の1年間だっただけに、保護者・地域のみなさまには例年以上にご理解とご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

毎年この時期、今年はどんな年だったかな、と振り返ります。3か月の臨時休業期間があり、分散登校を経て学校が日常を徐々に取り戻しつつあったところが、随分昔に感じます。授業時間が少なくなったため、時間割のコマ数を増やすとともに授業の質をさらに向上して遅れを取り戻すよう努めてきました。暑い中、汗を拭きながら懸命に勉強している子どもたちを見て、負担を強いていることに心苦しさを感じました。こうした取組の甲斐あって、どの学年も授業の進度はおおむね通常通りに戻っています。

一方、臨時休業の3か月間はマイナスの面ばかりでなく、先月副校長が学校だよりに書いたように、プラスの経験もありました。学校評議員の方から「休業明けの子どもたちの表情が豊かになっていた。」という趣旨の言葉を聞いた時、なんだか目の前が明るくなったような気がしました。一部の報道で「この期間で家族の絆が深まった。」「子どもとの距離が近くなった。」と感じている人が少なくない、とありましたが、身近なこととして実感しました。

来年に向け、新型コロナウイルスに対して“正しく恐れて未然防止を徹底する”ことが最も重要だと考えています。まだまだ分からない部分はありますが、特性や予防法は解明されつつあります。むやみに怖がり教育活動に制限を加えるのではなく、正しく恐れて可能な範囲を見極めて教育活動を展開してまいります。3学期以降の保護者参観の在り方や来年度の行事の実施について、教育委員会から現段階で指示等はありませんが、届き次第お伝えいたします。

来年も保護者・地域の方々と一体となって子どもたちの成長を支えていきますので、ご理解とご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

【交通事故の防止】

警察から、今年子どもが犠牲になる交通事故が多発しているので、改めて注意喚起を図ってほしいとの話がありました。年末年始の休みに向け、右に記載した警視庁のサイト等も活用し、ご家庭でも交通事故の防止を徹底してください。

